

《守山市水道ビジョン》

【平成24年度～令和3年度】

基本理念 輝かせよう 未来につなぐ ふるさとの水

基本目標

【安心】 安心しておいしく飲める水道づくり

主要施策

- 1、安全でおいしい水の提供
 - おいしい水の水質要件の確保
- 2、水質管理の強化
 - 水質検査計画に基づく検査の実施
 - 水質検査の積極的な公表
- 3、原水水質監視の強化
 - 要監視項目の監視の徹底

PI達成評価

達成・未達成
達成・未達成
達成・未達成

SWOT分析

基本目標

【安定】 いつでもどこでも安定した水道づくり

主要施策

- 1、安定した水源の確保
 - 現状の二系統供給の維持
 - 定期的な井戸の調査
- 2、老朽化施設の計画的な更新
 - 機械及び電気計装設備の順次更新
 - 配水管の計画的な更新

PI達成評価

達成・未達成
達成・未達成

SWOT分析

★ 令和元年度住民意識調査において 災害の未然防止の防災 9位

★ 令和元年度住民意識調査において 非常時の危機管理体制の構築 10位

基本目標

【持続】 未来につなぐ水道づくり
★ 令和元年度住民意識調査において 健全財政・行政運営 13位

主要施策

- 1、健全経営の持続
 - 工事コストの縮減、管理経費の節減
 - 適正な料金設定・改定時期の見極め
 - 自己財源の活用による企業債残高の抑制
- 2、アセットマネジメントによる効率的更新
 - 重要度、優先度を考慮した更新計画
- 3、技術継承と民間活用の検討
 - 民間活力の積極的導入、適正な人員配置
 - 技術職員の教育の充実
- 4、情報提供の充実
 - 広報の充実
 - 広聴機能の充実

PI達成評価

達成・未達成
達成・未達成
達成・未達成
達成・未達成

SWOT分析

基本目標

【環境・国際】 環境に配慮した水道づくり

主要施策

- 1、クリーンエネルギーの推進
 - クリーンエネルギーの導入検討
- 2、水源保全の啓発活動
 - 水源保全の啓発活動
- 3、国際貢献の推進

PI達成評価

達成・未達成
達成・未達成

SWOT分析

《滋賀県水道ビジョン》

【令和元年度～令和12年度】

(2019年度～2030年度)

基本目標

【安心】 安全で安心できる水道水の供給

主要施策

- 3、クリプトスポリジウム等対策
 - 未対策施設の早期解消
- 5、事業継続計画 → 強靱へ
 - 未策定水道事業者の早期解消
- 6、水道事故 ▲
 - 水質事故発生時の措置対応
- 9、貯水槽水道 ■
 - 簡易専用水道の法定検査受験率向上
2024年度末75%以上 2030年度末80%以上
 - 小規模貯水槽水道の検査実施率向上
2024年度末15%以上 2030年度末25%以上
- 10、指定給水装置工事事業者指導 → 項目立て
 - 事業者の技術レベルの維持向上

基本目標

【強靱】 災害に対して強靱な水道の構築

主要施策

- 1、耐震化率等 ▲
 - 基幹管路耐震適合率
2024年度末24%以上 2030年度末28%以上
- 3、アセットマネジメント → 持続へ
2024年度末策定完了
- 5、防災訓練 ★
 - 災害時における対応能力の維持 年1回実施
- 6、災害対応における広域連携 ★
 - 水道事業者間の協力体制の維持
- 7、緊急時連絡管の活用・整備 ▲
 - 既存連絡管維持と整備の研究
- 8、豪雨災害への対応 ▲
 - 豪雨災害対策の在り方研究

基本目標

【持続】 健全な経営による水道サービスの持続

主要施策

- 1、水道事業ビジョン
 - 県ビジョンと守山市水道ビジョンの整合
- 2、経営戦略
 - 2020年度末までに策定完了
- 7、料金設定 ●
 - 料金設定の適正化
- 8、技術力の維持・継承 ▲
 - 専門人材の確保と技術の継承
- 9、業務委託 ▲
 - 適切な実行、第三者委託・コンセッション 公的機関への委託
- 10、広域化(発展的広域化の推進)

《守山市新水道事業ビジョン》

基本理念

.....

施策の目標(案)

◆ 施策目標【安心】

1、安全かつ安心な水の提供
安心・安全な水の供給

2、水質管理の強化

水質検査計画・法定検査に基づく検査の確実な実施

3、原水水質監視強化と事故対応

要監視項目監視の徹底と水質事故発生時の措置対応

4、指定給水装置工事事業者指導

給水装置による水質事故未然防止の徹底と資質の向上

◆ 施策目標【強靱】

1、安定した水源の確保
自己水源と県水の供給維持及び定期的な井戸の調査

2、災害に強い水道の確立

基幹管路の耐震化及び緊急連絡管の整備

3、災害対策の充実

危機管理体制の強化に向け、事業継続計画の策定、防災訓練の実施及び広域連携の構築
また、豪雨災害へ向けた対応の研究

◆ 施策目標【持続】

1、経営基盤の強化
適正な料金設定・改定時期、自己財源の活用と企業債残高の抑制

2、アセットマネジメントの活用

老朽化対策を含む合理的かつ効果的な施設更新の実施

3、水道業務の効率化

計画的な技術継承及び効果的な民間活用の取り組み

4、広域的連携の積極的活用

施策体系

- 水道利用に関する設備手続きの外国語表記
- 姉妹都市との情報交流や現況報告

達成・未達成
達成・未達成

析

11、情報提供及び広報 ★

- 利用者への的確な情報提供 効果的な広報

- 5、情報提供及び広報の充実
- 6、クリーンエネルギーの推進

